

ギカイの窓

2016.11.01 No.46

特集 若き蔵元たち × 市議会

トピックス

平成27年度決算を認定しました

18人の議員が市政を問う！ 一般質問

議会と語ろう会 開催のお知らせ

教えて、あなたの夢

佐久市議会活動レポート

読みやすい議会だより

リニューアルしました!!

表紙

秋の暖かな光を感じて…

撮影 岩井 光昭さん／場所 望月総合体育館付近

若き蔵元たち × 市議会

今回は、議会だよりリニユール第1号として、13歳の若手経営者、「佐久若葉会」の方々に集まっていたき、8歳9人の若き蔵元の皆さんの夢や佐久の将来について語っていただきました。



酒づくりは、“娘や息子を育てて送り出す”そんな感じで作っています

— 若葉会は、どのような活動をされていますか？ —

設立は昭和30年の夏からになります。昔は懇親や情報共有がメインだったと思いますが、私達の代では、その他にも、佐久の清酒を知ってもらうイベント、PR活動等をしております。最近の活動で

は、佐久地方13蔵が集まって一つの酒をつくる、という取り組みをしたり、「SAKEテラス」といって、佐久の地酒と料理と一緒に楽しんでもらうというパーティー等を開催したりしています。

オール佐久で酒づくり

— 13蔵で一つの酒をつくらうと思ったのは何ですか？ —

昨今、嗜好品は理由づけが求められます。今まで、あまり酒蔵で原料を作ってこなかったので、原

料から酒蔵が携わることで、付加価値が高まるという流れです。オール佐久（水、米、作り手）ですね。

佐久（SAKU）の世界進出

— 最終的な目標は？ —

最近では、「酒どころ、佐久」と



行政の方々も言ってくださって、気運が高まっている。ただ、全国的にみると、「酒どころ」に信州は殆ど出てこない。「酒どころ、佐久」をPRしていく上で、13本の矢ではないけど、皆で同じプロジェクトを立ち上げることで、より効果が高まると思っています。また、地理的表示に、「佐久」というブランドが登録できればと考えている。県外だけでなく、世界進出ができればいいかなと思う。

佐久(SAKU)と酒(SAKE)の語呂が似ているので。(笑)

酒が佐久を思い出す

— どういった思いで、酒づくりをしていますか？ —

実は、土日が休みのサラリーマンになりましたかったですよ。だから最初の頃は、仕事が楽しくなかった。ただ、今、自分のつくった商品を手にとって、お客さんが「美味しいね」と直接言ってくさる。この瞬間が一番、嬉しい。また、商品が県外に出て行ったときに、佐久出身または県内出身の方が、

その商品を見て、郷土を思い出してくれる。自分のところのお酒がふるさとを思い出すのに役立っている。その一つひとつの積み重ねが、楽しさに繋がっていると感じています。

酒づくりは、「娘や息子を育てて送り出す」そんな感じでつくっています。

議会には政策論争をすすめてもらいたい

— 議会に期待することは —

市の議員さんは市民に近いところにあり、いろんな要望を言われて大変だと思いますが、政策論争はすすめてもらいたいですね。あと、乾杯条例には期待したいですね。乾杯は大手ビールではなく佐久の地酒で。(笑)

長野県はPR下手と言われています。「佐久と言ったら、酒が美味しいところ」と、市民が誇りをもてるようなPRを議員さんをお願いしたいですね。

平成28年 9月定例会 開 会

平成28年9月定例会を8月31日から9月28日までの29日間の会期で開き、補正予算や決算認定など30件を審議し、すべて原案どおり可決しました。



平成28年佐久市議会 9月定例会 議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
79	専決処分の報告について	◎
80	佐久市佐久平交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
81	佐久市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	◎
82	佐久市駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について	◎
83	佐久市交流拠点施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
84	佐久市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
85	佐久市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
86	佐久市特別養護老人ホーム結いの家における漏水事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	◎
87	市道の路線認定について	◎
88	平成27年度佐久市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
89	平成27年度佐久市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
90	平成27年度佐久市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
91	平成27年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計歳入歳出決算認定について	◎
92	平成27年度佐久市特別養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算認定について	◎
93	平成27年度佐久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
94	平成27年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎

議案番号	議事内容・議案名	結果
95	平成27年度佐久市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	◎
96	平成27年度佐久市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	◎
97	平成27年度佐久市環境エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
98	平成27年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
99	平成27年度佐久市茂田井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	◎
100	平成27年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計決算認定について	◎
101	平成27年度佐久市下水道事業特別会計決算認定について	◎
102	平成28年度佐久市一般会計補正予算（第4号）について	◎
103	平成28年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	◎
104	平成28年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	◎
105	平成28年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	◎
106	平成28年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建築（本体）工事請負契約について	◎
107	平成28年度佐久市一般会計補正予算（第5号）について	◎
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎

【結果の表示】 ◎ 全会一致で同意・認定・可決
○ 賛成多数で同意・認定・可決
△ 賛成少数で不採択

平成28年 佐久市議会第3回定例会 請願・陳情等状況一覧

番 号	請願・陳情者	請願・陳情要旨	結 果
平成28年 陳情第8号	日本労働組合総連合会長野県連合会 会長 中山 千弘 外1団体	奨学金制度に関する陳情	継続審査
平成28年 陳情第9号	りんどう会 会長 村上 裕史	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	一部採択
平成28年 陳情第10号	りんどう会 会長 村上 裕史	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書の提出を求める陳情	継続審査
平成28年 陳情第11号	りんどう会 会長 村上 裕史	無年金者対策の推進を求める意見書の提出を求める陳情	採 択

常 任 委 員 会 審 査 報 告

平成28年度一般会計補正予算 原案可決

総務文教委員会 委員長 高 橋 良 衛

主な補正予算

- ・地域おこし協力隊活動経費
- ・市内小中学校のグラウンドが固くなつてしまったため、最初の状態を維持するための用具購入経費

◆こんな意見・質問が出ました

意見

- ・地域おこし協力隊活動経費について
協力隊員の任期は最長で3年とのことだが、現在協力していただいている事業終了後も住み続けていただくための方策と一緒に考えていただきたい。

質問

- ・小中学校グラウンド整備の用具購入について
Q グラウンド整備用具の使用はだれが行うのか。

A

用務員さんや部活動の顧問等のみなさんをお願いしていく。



念願の野球場建築本体工事に着工する

経済建設委員会 委員長 関 本 功

・野球場建築本体工事請負契約について

- 鉄筋コンクリート造・2階建て・延べ面積922・03平方メートルの野球場メインスタンド本体を2億3千万円余りで建築する契約を、原案可決と決しました。

◆こんな質問が出ました

AQ

球場の方位はどのように検討されたか。

AQ

現状と過去の最多風向を基に、本塁を北側に、投手を南側に配置しプレーヤーを主体とした南方角の野球場を設計した。

AQ

グラウンドの大きさはどうか。

AQ

本塁からセンター間が122・0m、両翼が99・1mのグラウンド設計です。

AQ

球場の収容人数は。

全体収容人数は8,350人で、内野席が1,800

人、外野席が、

6,550人です。

メインスタンド

席は個席508席、

ベンチ席772席、

車いす席6席です。



野球場建設予定地を視察

無年金者対策等の推進を求める陳情 及び意見書を採択

社会委員会 委員長 江 本 信 彦

本陳情は、平成24年に成立した無年金者への対策等の法律を受けて、その救済策として財源確保の上早期に実現するよう要望するものです。委員会審議の結果、全会一致で陳情を採択しました。

◆こんな意見が出ました

意見

- ・安心して老後を暮らすためには大事なことであるので賛成である。
- ・年金受給資格期間を25年から10年に短縮すれば無年金者の約4割に当たる17万人が受給権を得られる可能性がある。消費税10%といった財源を確保した上で、できるだけ早期に実現を求めているべきと考えるので賛成である。



平成27年度決算を認定しました



市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。

そのため、9月21日・23日の2日間、皆さんが納めた税金がどのように使われたか、決算特別委員会を開催し確認しました。

そして全ての決算が認定されました。

			収 入	支 出
一 般 会 計			519億1,347万7,121円	502億561万6,583円
特 別 会 計	国民健康保険	事 業 勘 定	121億9,094万6,000円	121億7,276万264円
		へき地内山診療所勘定	49万5,409円	48万1,065円
		浅 科 診 療 所 勘 定	1,671万597円	1,572万1,285円
	介 護 保 険		89億8,967万8,378円	89億7,878万2,133円
	障害者支援施設臼田学園		2億3,381万8,326円	2億3,367万8,011円
	特別養護老人ホーム		8億5,167万7,004円	8億4,807万9,988円
	後 期 高 齢 者 医 療		10億56万600円	9億9,720万266円
	住宅新築資金等貸付事業		1,477万464円	1,454万3,566円
	介護老人保健施設		2億5,372万1,201円	2億4,646万8,936円
	奨 学 資 金		3,714万5,787円	3,676万773円
	環 境 エ ネ ル ギ ー 事 業		1億3,883万4,089円	1億3,877万7,383円
	工業用地取得造成事業		3億7,040万7,000円	3億7,040万6,800円
	茂 田 井 財 産 区		180万7,169円	177万1,962円
総 計			760億1,404万9,145円	742億6,104万9,015円
企業会計 (国保浅間総合病院事業)		収益的収支	69億7,786万6,635円	68億3,787万7,887円
		資本的収支	17億3,565万7,500円	20億776万6,564円
企業会計 (下水道事業)		収益的収支	39億8,737万9,541円	34億9,612万882円
		資本的収支	13億2,845万4,290円	24億9,154万9,132円



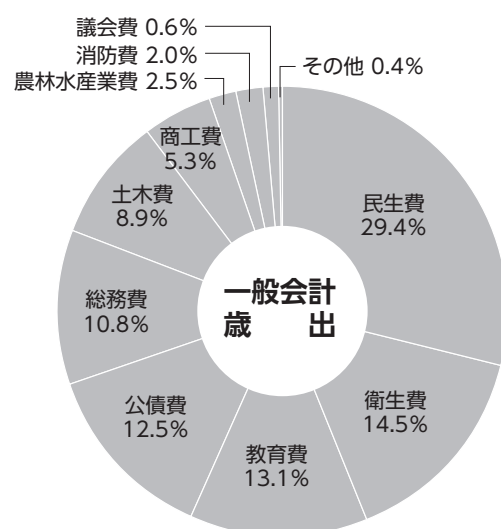
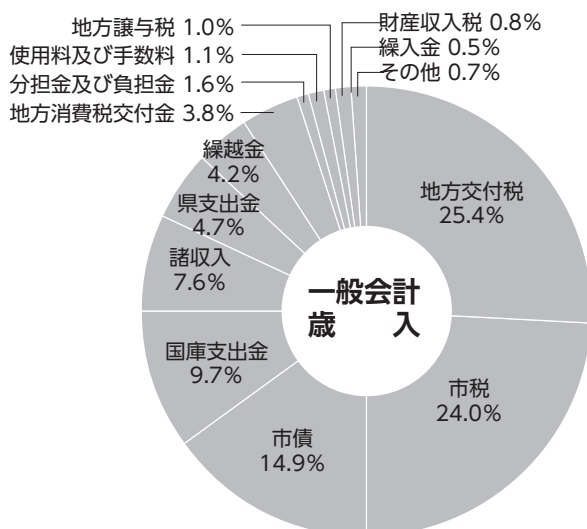
平成28年第3回定例会における平成27年度一般会計、特別会計の計14の決算審議は、当市議会史上初めて議長と議会選出監査委員を除く全24議員で構成、設置された「決算特別委員会」で行われました。

従来は、総務文教、経済建設、社会の3常任委員会それぞれの所管分野ごとに審査する方式で、議員は自己の所属する委員会の分野しか審議できませんでした。

議会改革の一環として議論の末、私たちは今議会から全議員が全ての決算について審議できるこの方式を採用しました。

9月21、23日の2日間、計13時間に及ぶ活発で緊張感のある審議を経て、決算議案はすべて原案どおり認定されました。

決算特別委員会について



18名の議員が市政を問います

一 般 質 問

- 一般質問の紙面は、議員個々の責任で編集しています。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード



安心して子育てのできる環境づくりを

◆高校生の通学支援について

Q

子どもが高校生になると送迎が課題になる家庭が多い。望月から岩村田方面へはバス代が高額のため、ほとんどが自家用車で送迎している。進学先を決める際にも影響している。過疎債で補助している市町村もあるが通学補助を検討できないか。

A

高校選択には一定の自由が認められているので、通学補助は検討していない。

◆安心な出産・子育てについて

Q

産後ケアのために助産院など保険適応外の施術に使える助成券は、お母さんの心身変化への支援として有効だと考えるが、佐久市でも発行の検討は。

A

保健師や助産師による家庭訪問や相談事業があるため、助成券は検討していない。

Q

佐久市の子育て情報サイト「パママフレ」は、詳しい情報は佐久市のHPへ戻ってくる仕組み

になっている。せっかく外部サイトを使うのであれば、もっと地元の情報があると良いが。

A

Q

個人や民間情報も内容により掲載可能。工夫を心がけたい。

子どもを多く持つママたちには、頼れる保育士や助産師、ママ友というキーパーソンがいる。子育て支援センターはお母さんたちを孤立させないためにも重要な存在。利用状況は。

A

昨年度合計で約1万7千人。少子化が進む中、需要の高い事業ととらえている。



子育てにやさしいまちを



よしかわ ともこ
吉川 友子

農家数減少の中、市の基幹産業としての農業をどう守っていくのか



よしふみ 義文
みついし 三石

Q 本年度発表された農林業センサスでの市内の農家数は。

A 前回調査より1.3%、891戸減少し農業の縮小傾向が窺がえる。

Q 後継者が少ない理由に、「農業が儲からないから」と考える人が多いのだが、市の分析は。

A やはり儲からない事や重労働であることが要因ではないかと捉えている。

Q 耕作放棄地なども増えているようだがその対策は。

A 山間部の桑畑などを含めると全体の25%にもなり耕作放棄地の増加に歯止めがかからない。国の再生利用補助金や市の補助事業により約25ha農地に回復できた。より一層の努力をしていく。

Q 担い手を確保していくため農地の集積や新規就農者支援の充実等、課題も多いが担い手確保を今後どう進めていくのか。また、新規就農者の3割が数年で

離農していく。農業を続けられる施策をお願いしたい。

A 農業が維持発展していくにはやはり新規就農者の確保が大事。佐久市は研修体制の充実もあり、5年で35名の新規就農者があった。今後も資金面、住居面支援を進めていく。

◆その他の質問項目

・広域連携の強化、推進について
・公立保育所の環境整備と今後の在り方について



空き家対策等、様々な効果が見込める三世代同居・近居を推進すべき！



おおい たくお
大井 岳夫

Q 三世代同居・近居は、増加し続ける空き家対策、少子化対策や子育て、介護等に様々な効果が見込め、国も補助制度を新設し、推進をしている。

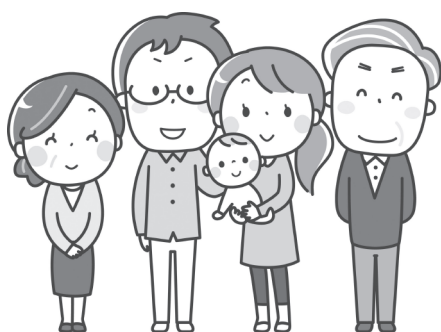
また、全国でも転居費用や住宅の新築、リフォーム等に要する補助制度を独自に設ける自治体が増えている。佐久市でも独自の補助制度を設け、三世代同居・近居を推進できないか。

A 三世代同居は様々なメリットがある一方、デメリットもあると捉えている。住宅建築への経済的な支援だけでは三世代同居が図られるのではなく、なぜ核家族化が進行しているのかといった、根底にある問題を解決しないと、三世代同居につながらないと考える。国の施策の動向や効果、他の自治体の状況や事例を注視しながら、関係部局と横断的な議論を重ねたい。

Q ふるさと納税の返礼として、

空き家となった実家の見回りサービスを導入した自治体の取組みが注目されている。佐久市でも同様の返礼、サービスを導入すべきではないか。

A ご提案の空き家見回りは、ふるさと納税の趣旨に合い、空き家管理の観点からも有効な手段と考えるが、ニーズや実施事業者があるか等の課題も考えられる。先進自治体の取組みも踏まえ、佐久市に合った効果的な方法を研究していきたい。



Dr. Sheng-Guang Yang



Dr. Shirohiko Kikuchi is a Japanese physician and researcher. He is a member of the Japanese Society for the Study of Osteoporosis and the Japanese Society for the Study of Bone Mineral Metabolism. He is also a member of the International Society for Clinical Densitometry (ISCD) and the International Osteoporosis Foundation (IOF). He is a past president of the Japanese Society for the Study of Osteoporosis and the Japanese Society for the Study of Bone Mineral Metabolism. He is currently a professor at the University of Tokyo and a senior advisor at the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST).

9

東会館の改築について 道路脇の立木について

Q

東会館の改築計画の現状とJ A東支所との併設により改築を早く進めることはできないか。

A

佐久市区長総会、東地区の市政懇談会において、平成26年度から4回にわたり改築の要望があり、J A東支所との併設も含めた複合化・多機能化など、施設の統廃合も視野に入れ、様々な手法による計画検討を行う。

Q

道路脇にあり交通の支障となる立木、また倒木の恐れのある立木の管理、対応について。

A

立木の枝等が、道路に張りだし通行の妨げとなっている、また倒木の恐れがある立木は、基本的には土地の所有者が対応することになる。



なかじょう 中條 ときかず 寿一



平成28年8月24日 佐久市香坂南沢にて

◆その他の質問項目

- ・企業誘致について
- ・スポーツクライミングとは
- ・クマの出没情報・対応は

道路は自動車や歩行者の安全な通行を確保するため、車道については高さ4.5mまで、歩道については2.5mまでの範囲に、通行の障害となる物を置いてはならないと道路構造令において規定されている。区長や市民から連絡があれば立木の土地の所有者に連絡し、伐採等の対応をお願いする。

旧美笹自然園の活用と保全について 文化振興計画の今後の方針について

Q

旧美笹自然観察園の市の位置付けと将来構想は？

A

同園は平成3年の開園以来湿生林を含む貴重な植生を有する自然観察、環境教育の場として位置づけられてきた。23年に閉園されたが、現在もこれからもその位置付けは変わらない。

Q

現状は、自然愛好団体の「草友会」さんが無償で管理・保全活動をしているが、近年特に「ウバユリ」の蕾の96%が食べられてしまうように野生鹿による被害が激しい。市としての対策と同会の活動への支援は？

A

食害については地元猟友会とも協議し、対策を考えたい。費用については「佐久つと支援金」制度を活用いただければと思っている。

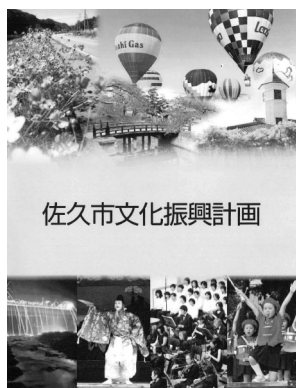
Q

期間10年の「文化振興計画」は策定から4年が経過し折り返し点にきている。これまでの事業の総括と今後の方針は？

A

文化振興への直接投資は25年度の1,400万円から毎年増加し続け、昨年度は3,400万円にのびた。事業遂行の体制も整い、事業内容も年々充実してきたと思っている。

計画期間半ばにさしかかり、来年度にはこれまでの事業の効果検証と、市民ニーズの改めての把握のために、アンケート調査を実施する。その結果から課題を見出し、数値目標を含めた後半の振興計画を策定していきたい。



佐久市文化振興計画書



よしおか 吉岡 とおる 徹

買い物弱者支援について 特殊詐欺被害防止について

Q 買い物弱者の波及課題として低栄養問題がある。研究者事例報告の水戸市では買物困難地域において十分に栄養が摂れない世帯が約5割という結果が出ている。このような問題や現状をどのように把握しているか。

A 平成25年度に市が行った高齢者実態調査における65歳以上の元気高齢者400人の回答では、買い物支援のサービスを望むと答えた高齢者は5割にのぼる。今後買い物支援等について詳細な実態把握が必要であると考えている。

Q 買い物弱者の波及課題として低栄養問題がある。研究者事例報告の水戸市では買物困難地域において十分に栄養が摂れない世帯が約5割という結果が出ている。このような問題や現状をどのように把握しているか。

A 平成25年度に市が行った高齢者実態調査における65歳以上の元気高齢者400人の回答では、買い物支援のサービスを望むと答えた高齢者は5割にのぼる。今後買い物支援等について詳細な実態把握が必要であると考えている。

Q 買い物弱者の波及課題として低栄養問題がある。研究者事例報告の水戸市では買物困難地域において十分に栄養が摂れない世帯が約5割という結果が出ている。このような問題や現状をどのように把握しているか。

◆特殊詐欺被害防止について

Q 大和郡山市では自治体や警察の情報をもとに作られたデータベースを利用し、迷惑電話の着信を自動的に切断する電話機購入への補助制度を始めている。佐久市においてもこのような取り組みを推進したらどうか。

A 特殊詐欺の手口が電話によるものであることから、「通話録音機」などには効果があると思われる。県の「消費者行政活性化事業資金」による自治体支援制度などもあることから、補助制度の動向や利用ニーズを見極め検討していく。

◆その他の質問項目

・災害時の発達障がい者への支援について

・公共施設等総合管理計画について



えもと のぶひろ
江本 信彦

樋橋地域の開発について・観光案内について・各地域の祭りについて

◆樋橋地域の開発について

Q 樋橋地域開発事業において、不足しているものを優先的に組合・行政が一体に取り組んでは。

A 地区の強みである高速交通網の結節点としての優位性を生かし、「新たな仕事と雇用」「新たな人の流れ」「新たな交流」「新たな魅力」の4つの創生を目指していく。

Q どのような地域開発を考えているか。

A 企業や研究機関等の関連施設の形成を想定している。

Q ホテル誘致の考えがあると聞くと、宿泊のみの施設なのか、大会議場施設の計画のあるホテルなのか。

A ホテル内にコンベンション機能を有し、会議・イベントを催す事の出来る施設を想定している。

Q 佐久平の観光施設を点から線で結ぶ観光案内について

A 佐久平の観光施設を点から線で結ぶ観光案内について

Q いかに滞在時間を持って頂くかの案内観光が必要であると考えるが、分かりやすい案内パンフレットや案内標識設置を。

A 各施設の魅力を改めて見直し検証し、これらを結ぶことで観光客へ滞留時間を延ばす提案をしていく。

Q ◆各地域の祭りについて

A 助成している祭りは、件数は12のイベント・総額5千82万円の助成。助成も考えるが、人的支援を各地域にし、側面的な支援をしていきたい。

Q ◆各地域の祭りについて

A 助成している祭りは、件数は12のイベント・総額5千82万円の助成。助成も考えるが、人的支援を各地域にし、側面的な支援をしていきたい。



いちかわ としのぶ
市川 稔宣

東京オリンピックに向けた取り組みは 全面通行止めの林道鹿曲川線は今?!



たけはな みゆき
竹花 美幸

◆東京オリンピックに向けて

Q

エストニア共和国のホストシティとしての今後の交流は。更に、オリンピックや事前合宿、選手等との交流に向け必要なボランティアマインド等をどのように醸成していくのか。

A

来年度からはエストニア共和国サク市と中学生の相互交流を予定している。その他、エストニアの陸上競技の合宿受入れをはじめ、日本人オリンピック・パラリンピアンを招いての市民交流事業も計画している。具体的には、エストニアの選手が出場するパブリックビューイングや応援ツアーの実施等を考えている。ボランティアを募って佐久市らしいおもてなし交流を進めていきたい。

Q

東京オリンピック等は、未来を担う子ども達に非常に有効な教育となる。身近な場所で一流の人に触れる体験を子ども達に



7年間全面通行止めの林道鹿曲川線

A

させてほしいかがか。

オリンピック・パラリンピックは教材の宝庫。今後日本人オリンピック・パラリンピアンを小学校にお招きし、講演や競技体験を行う事を考えている。

◆林道鹿曲川線はどうなるのか

Q

今後の整備について、できる所は進めるべきだがどうか。

A

通行可能区間は、今後も維持修繕及び林道改良を実施していく。通行止め区間についても、関係機関と協議を行い、事業実施について検討していく。

療育支援センターの増設を 学校給食のパンの委託先は市内業者に



ゆう こうし
内藤 祐子

Q

療育支援センターに通所する、重症心身障害児、発達障がい児が年々増加している。支援の必要性は明白。機能強化の形として、センターの増設はできないか。

A

機能としてのボリュームが求められている。二次障害を出してはならない。どう手立てをするか、研究しながらの対応は必要。

Q

ライフステージに沿った切れ目のない支援は絶対に必要。保育園、学校での支援の現状と、サポートブック「虹のかけし」の活用状況はどうか。

A

加配保育士は公立保育園で64人、私立保育園19人。小・中学校の特別支援教育支援員は49人。平成24年作成の「虹のかけし」佐久市分500冊中、配布は188冊。

Q

配布も少ない。内容も使い勝手を検証し、沖縄のように改定を検討すべきではないか。



楽しく発達保障している療育支援センター

A

発達障がい児支援担当者連絡会を充実させ、検討していく。

Q

2学期から給食のパンの委託先がモンドウルから丸子の炊飯センター柳澤に変更になった理由と、市外業者になった理由。

A

モンドウルから辞退申出があり、替りを市内に見つけられず、長野県学校給食会が決定した。

Q

当事者の声を聞き、小規模業者に分ける事も含め検討を。

A

地元業者を優先するよう、長野県学校給食会に話していきい。

佐久市内の冬期間の農業について 臼田地区内の児童館について

Q 佐久市内での農業機械による事故について。

A 年間一人平均の事故が発生している。事故は高齢者に発生する頻度が高い。

Q これからの事故対策と、農業者用の労災保険加入について。

A 佐久農業改良普及センター、JA等と協力しながら農作業事故防止に努める。国の制度として手厚い労災制度がある。この制度の周知に努め加入を呼びかける。

Q 市内で冬期間の農業栽培の可能性について。

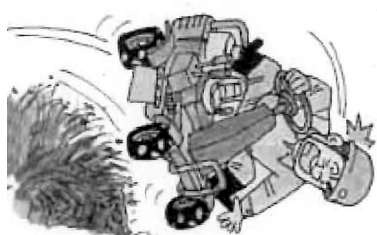
A これまではあまり取り組みがなされてはなかった。今後は農業生産法人など従業員の通年雇用など年間を通した収益の確保が求められる。現在、新規就農者によるホウレン草のトンネル栽培、長者原でのベビリーフなどがある。

Q もみ殻を燃料とした水稻育苗

A ハウスでのトマト栽培について。望月協和地区でもみ殻を熱源としたトマト栽培、佐久市有機農業研究会での冬期間の野菜の栽培研究について可能性はあるものと考えている。このように新たな取り組みについて佐久市として支援を考えていく。

Q 臼田地区新学校建設に伴う児童館整備について。

A 新小学校に通う児童の安全性、利便性通学方法、地域の皆様の意見を聞き検討する。



たかはし よしえ
高橋 良衛

議員や職員は滞納してはならない！ 太陽光補助金受領企業は雇用創出を！

Q 議員や職員が滞納している実態が他自治体にある。市が議員を特別扱いし、税の徴収に手心を加えていたという事例もあった。議員や職員の報酬・給料は市民の税金から支払われている。滞納があつてはならない。佐久市はそんな事がないか。あるとしたら、件数、滞納額を。

A 地方税法の守秘義務に抵触するので答えられない。

Q 個人情報保護の観点、守秘義務の観点から考えても、件数、滞納額ぐらいは答えるべき。滞納者がいないか、と言えは済む事。議員に滞納者がいたか、いなかったか。

A 先の理由で答えられない。税金の重みを感じるため、市長、議員も滞納整理を経験して欲しいが、できないか。

Q 市長就任時に考えたが、市民への影響を考え控えた。

A 企業向け太陽光発電補助金が

H 24、H 25で44社のみに約4億4千万円強も配られた。自然エネルギーを用いた電力自給率を上げるためだけが目的ならば、国の固定価格買取制度で十分だった。このお金があれば、貧困の子どもたちや、介護が必要なお年寄りに使えた。もっと雇用創出を企業に働きかけるべきで、新規雇用の有無や、その数を毎年報告させ、公表する事を提言するが。

A 報告義務が無いので毎年10社ヒアリングで聞く。



いじま まさのり
飯島 雅則



学習支援について フードドライブについて

Q ひとり親家庭への学習支援の取り組みについて伺う。

A 子どもの居場所確保を目的とした県の事業に学習支援、食事の提供、相談対応などがある。

様々な問題を抱えた子どもの支援につながるので今後事業の連携を検討していく。

Q 経済的に厳しい家庭環境により、基礎的な学習能力に支障をきたしているような生活困窮家庭や低所得の世帯の児童・生徒に対して、自立支援制度による直接的な学習支援が必要と考えるが市の考えを伺う。

A 貧困の連鎖を防止する学習支援の取り組みは重要であり、親の支援にもつなげ、世帯の自立にも結びつけると期待できる。ひとり親家庭への学習支援事業と連携することで相乗効果も考えられるので実施の可否も含めて検討していく。

Q 個人が自宅で使わない食品を



内藤 かつとし
ないとう 勝利

持ち寄り、NPOなどを通じて生活困窮者に提供するフードドライブの取り組みが県内でも広がっている。佐久市においても市のイベント等で食料品の寄付を受け付けることで取り組みの後押しをできないか伺う。

A 佐久市でも県と共同設置している「まいさぽ佐久」を經由してNPO法人から生活困窮者に食料支援を行っており、フードドライブの活動目的や必要性を実感している。活動の広報に加えて実施可能な支援を行っていく。



フードドライブで食料品の支援

新たな工業団地の整備・観光案内標識とサテライトオフィス誘致について

Q 新たな工業団地の整備計画について、そのスケジュールと規模をお聞きます。

A スケジュールについては、関係法令・各種許可・造成工事などを経た後、平成33年から分譲が可能になる様にしたいと考えている。

規模は、適地を選定したうえで地域住民の皆様との調整をはじめ、地理的制約や企業要望等を踏まえ、分譲区画を想定する中で開発面積を決定して行きたい。

Q 観光案内標識において、景色等の絵を入れるなど景観を配慮した中での注目される標識の作成についてお聞きます。

A 今後、設置されている観光案内標識の修繕や更新の際には分かりやすい絵柄を入れるなどの工夫をして行きたい。

Q 市内を統一した観光標識にすることはできないか。



しのはら 篠原
つとむ 勤

A 現在、市内の観光案内標識において統一した色、マークなどを付けた標識はありません。今後、夢科スカイラインや中山道など広域的視点も含め、配慮が必要と考える。

Q ICT企業向けサテライトオフィス設置支援事業について。

A 市外の情報サービス業・コールセンター業の事業者向けに空き家や空き事務所の改修費及び賃借料の一部を補助する事業。

◆その他の質問項目

・佐久南交流拠点施設（ヘルシーテラス佐久南）の件



不思議な案内標識

埋蔵文化財の展示活用について 佐久総合運動公園等の活用について

Q 埋蔵文化財を今後どのように展示及び活用していくか。

A 今後、市の広報誌やホームページ等により情報発信を行う中で、展示品の入れ替え等による展示内容の充実を図り、また、学校等からの依頼、文化財歴史講座や出前講座、少年考古学教室での生きた教材としての活用を一層進める。

Q 県内他球場と比較して、佐久総合運動公園野球場の特色は。

A 人工芝のグラウンドにより、年間を通じて、フルシーズン利用できる。長野オリンピックスタジアム等と比較して遜色のないグラウンド仕様である。内野グラウンドの水はけを良くし、降雨後に、試合再開までの時間短縮を図れる。ブルペンを広くとり、屋根を設置し、室内練習場を兼用できる。

Q 佐久総合運動公園、県立武道館等を活用した地域活性化と交

流人口創出のビジョンは。

A 佐久市への来訪者や、市内宿泊施設利用者の増加、練習環境が整備されることによる競技力の向上や競技人口の増加が見込まれ、地域の活性化や交流人口の創出に寄与する。軽スポーツなどの運動をする機会を設けることにより、市民の健康増進や体力づくりにもつながると考えている。

◆その他の質問項目

・地方創生を実現するための現況と課題について



佐久総合運動公園野球場



こがねざわあきひで
小金沢昭秀

就学援助の対象項目の拡大・入学準備 の新入学児童等学用品等を3月支給に

Q 子どもの6人に1人が相対的貧困に陥っていると言われ、就学援助の拡充が求められている。国が認めているのに、佐久市はクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を対象項目に認めていないが、これらを加えられないか。

A クラブ活動費は、児童生徒が任意に加入するものであり、所属するクラブによって必要となる経費に差がある等、公的援助の支給対象としていない。生徒会費、PTA会費についても、学校ごとに金額にバラつきがあるなどにより支給対象としていない。

Q

A ある中学校の吹奏楽部では、入部してから半年で2万9千930円の費用がかかっている。食費も減らして、子どもには志を持って入部したのだから続けさせたいと、何とかやりくりしているとの実態が寄せられた。この厳しい実態に市は応えられない

Q 子どもの6人に1人が相対的貧困に陥っていると言われ、就学援助の拡充が求められている。国が認めているのに、佐久市はクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を対象項目に認めていないが、これらを加えられないか。

A クラブ活動費は、児童生徒が任意に加入するものであり、所属するクラブによって必要となる経費に差がある等、公的援助の支給対象としていない。生徒会費、PTA会費についても、学校ごとに金額にバラつきがあるなどにより支給対象としていない。

Q

A 前年度の所得が確定できない時期である等により、3月に繰り上げることは困難である。軽井沢町では、3月支給に決める、要綱を前前年度の所得に変更している。



こばやし まつこ
小林 松子

第2次佐久市総合計画・市道や側溝の整備・千曲川河川整備



やなぎさわ きよし
柳澤 潔

Q 地域の特徴を生かしたまちづくりとはどのようなものか。

A それぞれの拠点を中心に、受け継がれてきた町の特徴を生かし、可能性が最大限発揮できるまちを目指す。

Q コンパクトなまちづくりを明記できないか。

A コンパクトなまちづくりとは、一極集中という誤解を招く可能性があるため、「機能集約、ネットワーク型まちづくり」を表記する。

Q 佐久市内には、未舗装の道路や仮舗装のまま側溝のない道路が見られる。また、中央区には仮舗装で延長の長い生活道路や、複数の区にまたがる道路が多くある。用地交渉を区長にまかされていたら、手が付けられず整備が進まないのは当然だが、どの様に進めるのか。

A 用地買収が伴う場合は、原則として関係する区長さんにより

住みやすいまちの条件

- 1、足回りがよい
- 2、買い物しやすい
- 3、安全に暮らせる
- 4、医療が充実
- 5、公園や公共施設が充実

出典：リクルートSUUMO

Q

用地提供者等の了承をもらって頂いてから、要望書を出してもらっている。
地権者が多く、区長さんが対応できない場合は、地権者に集まってもらい、市による事業説明会を開催し用地確保を行う。
清流の里に相應しい千曲川の河川整備ができないか。

A

アカシヤ等の木は建設事務所が公募により伐採をしている。
区長会と佐久市合同や、千曲川河川整備促進期成同盟会で建設事務所に毎年お願いをしている。

議会だよりのリニューアルについて

議会だよりを読みやすくするようリニューアルしました。
「ここが良かった」、「ここを直して欲しい」などご意見、ご提案があれば、メールもしくは議会事務局へお寄せください。

メールアドレス：gikai@city.saku.nagano.jp



引き続き議会だより表紙写真を大募集

佐久市内で撮影した四季折々の行事など「議会だより」の表紙にふさわしい写真を募集しています。詳細はホームページで。

広報広聴特別委員会

行政視察報告

弱者の困難に、行政が寄り添い支援する大切さを、
命・平和の土壌の上に学んだ、沖縄視察

総務文教委員会

とても内容の濃い沖縄視察となりました。初日まず、沖縄市の「沖縄県発達障害者支援センターがじゅまーる」へ。発達障がい（児）者への支援と、支援体制の整備を目的とした拠点機関です。発達障がい者が地域で安心して生活できるよう、保健・医療・福祉・教育・労働などのネットワークづくりを推進。まさに、切れ目のない支援を実践しているのです。2日目は、名護市へ。「生活困窮世帯への学習支援について」貧困の連鎖を止めるため、市と教職課程のある名桜大学とが連携し、無料塾『ぴゅあ』を運営している。年齢も近い学生が関わる効果もあり、進学へと成果を上げている。市も学習支援員2人配置。送迎バスを出すなど、課題を見極め継続発展させています。3日目は糸満市へ。西崎ニュータウン自治会自主防災会の取り組みを学びました。津波の心配も大きい地域で、防災



名桜大学での視察の様子

訓練には200人もの参加があるとの事。集会場には炊き出しの備品初め、82種もの防災グッズも常備。私たちの視察のために訓練さながらの準備をしてくれ感謝でした。最後に、佐久の先人小池勇助軍医の最期の地、糸洲壕を訪れました。「ふじ学徒隊」の娘さん安里さんから話を聞き、戦乱の中「死んではいけない」と伝えた彼に思いを馳せてきました。

地域に開かれた福祉施設
子育て世代が幸せを実感できるまち

社会委員会

◆社会福祉法人札幌協働福祉会
保育園、発達障害支援、障がい者就労支援、居宅介護、小規模多機能、有料老人ホーム、など多くの事業を手掛け、地域に根付いた福祉事業を行っている。職員が地域に暮らし、防災や行事に利用者さんと一緒に関わって、北欧型ノーマライゼーションを実践。2011年以降は福島からの保養受け入れや熊本地震災害支援も行っている。

◆俱知安複合福祉施設つくしんぼ
障がい者就労、認知症グループホーム、居宅介護などの拠点となる複合施設。就労支援としての喫茶にはキッズコーナーを設け、小さな子どもを遊ばせながら親同士の交流もできる。充実したマンガセクションは中高生に人気の安全なたまり場。

◆子育てするなら千歳市
子育てコンシェルジュによる子育て相談のほか、今年度10月から



福祉事業所での活動の様子

は産前産後ケアを含むちとせ版ネウボラも開始予定。また、道内初の巡回支援として、心理士等が子ども園などを訪問し、障害児の早期発見によるインクルージョン保育を実施。その他、中高生と連携したイベントや支援センターなど公立施設の職員による子育てブログ、転入親子ウェルカムツアー、定期的な子育て講座からサークル支援など数多くの独自事業を展開。

議会と語ろう会

～議会報告・意見交換会開催のお知らせ～

佐久市議会では、市民の皆さんに議会活動を報告し、皆さんから直接ご意見をお伺いする場として「議会報告・意見交換会」を開催します。

今年は、これからの佐久市にとって重要な課題について、市民の皆さんの率直なご意見をお聞きするため、車座での意見交換を行います。

【第1部】議会報告

- 総務文教・経済建設・社会の3常任委員会からの報告
- 決算特別委員会から平成27年度決算についての報告

【第2部】意見交換会

●意見交換のテーマ

共通テーマ「特色あるまちづくり」について

個別テーマ どう活かす? 「空き家・耕作放棄地」

健康第一! 教えて! 我が家の医療費抑制策

安心して暮らせる「高齢化社会のための支援策」って?

議会用語は聞きなれない言葉なので、よく分からない。

できるだけ議会用語を使用せず、わかりやすい説明、資料になるよう工夫してみました。

夜7時の開催は遅いです。もっと早い時間にやってください。

昨年より30分、早い時間からの開会に変更しました! 今年は、午後6時30分開始です。(11/5は除く)

昨年参加された皆さんの声を活かし、こんな工夫をしました!

車座的な、和やかな形式での意見交換会を望みます。

やります! 今年は、車座での意見交換です。

夜道は高齢者にとって車の運転が困難です。昼間の開催もできませんか。

やります! 11月5日市民創録センターは、土曜の午後開催です。

議会と語ろう会の日程及び会場

どちらの地区への参加も可能です。ご都合のつく会場へおでかけください。

地区名	日 時	会 場	担当議員 (50音順)
浅科地区	11月4日(金) 午後6時30分～	浅科福祉センター	飯島雅則 市川稔宣 井出浩司 篠原 勤 関本 功 中澤兵衛 中條寿一 柳澤 潔 吉川友子 和嶋美和子
佐久地区	11月5日(土) 午後1時30分～	市民創錬センター	市川 将 大井岳夫 神津 正 小金沢昭秀 小林貴幸 杉岡 務 関本 功 高橋良衛 内藤 勝利 中條寿一 三石義文
臼田地区	11月7日(月) 午後6時30分～	あいとぴあ臼田	井出浩司 井出節夫 江本信彦 菊原初男 小金沢昭秀 杉岡 務 高橋良衛 竹花美幸 内藤祐子 三石 義文
望月地区	11月8日(火) 午後6時30分～	駒の里ふれあいセンター	市川 将 江本信彦 大井岳夫 神津 正 小林松子 竹花美幸 内藤勝利 中澤兵衛 吉岡 徹 吉川友子
佐久地区	11月15日(火) 午後6時30分～	野沢会館	飯島雅則 市川稔宣 井出節夫 菊原初男 小林 松子 篠原 勤 内藤祐子 柳澤 潔 吉岡 徹 和嶋美和子

※担当議員は、都合により変更になる場合があります。

開場（受付）は、いずれも開始時刻の30分前からです。各会場2時間を予定しています。

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成28年12月定例会）の日程（予定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。

本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。

ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495(直通)

次回定例会のお知らせ

【平成28年12月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
11/20	21	22	23	24 本会議 (開会)	25	26
27	28	29	30	12/1	2	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問)	8	9 本会議 (議案質疑)	10
11	12 委員会	13 委員会	14 委員会	15	16	17
18	19 本会議 (閉会)	20	21	22	23	24

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

編集後記

臨時国会における首相の所信表明演説の中で地方創生について「過疎化、高齢化、地方が直面する困難は、深刻です。しかし、特色のある農林水産物、豊かな自然、伝統・文化、それぞれの地方が持つ個性は、いまだ十分に活かされているとは言えません。ここに、大きなチャンスがあります。」と発言されております。

今後、創設される地方創生拠点整備交付金等を活用しながら、地域コミュニティ組織の日常的活動の場としての廃校舎等を活用した拠点施設整備や地域経営の視点に立った観光地域づくり、農業の6次産業化等佐久市・佐久広域の状況にあった政策・施策を産官学の連携により、考え、実践すること、この地域にしかないものの、味あえないものを見出し、活用すること、将来の投資をすることで、20年後、30年後の佐久市が、発展できるよう、私たちも今まで以上に努力していきたいと思えます。

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります 佐久っ子の夢、応援します！



みつい ゆあ
三石 悠杏さん
(青沼小学校6年生)

わたしの将来の夢は、外科医です。
たくさんの人の命を救いたいと思ったのと、女医さんが出ているTV番組を見て、手術する姿がカッコイイと思ったからです。

最初、お母さんが助産師をやっていて、赤ちゃんを産むのを手伝うのも良いなと思ったけども、お医者さんの方が、もっとやりがいがあると思いました。

今、夢に向かって体のづくりや病名を本やインターネットで調べたり、勉強を頑張っています。中学生になったら、忙しくても図書館に通って勉強をしたいと思っています。部活については入るかどうか考え中。

算数より理科が好き。学校で怪我した友達を保健室に連れていったり、ティッシュで拭いたり、人の面倒をみるのが好きです。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告していきます。

佐久市議会議員研修会開催（7月22日）



放送作家の石井彰氏を講師に迎え、「放送と防災」と題して、講演をいただきました。阪神大震災や熊本地震などにおける災害から、ラジオ放送の重要性を中心にお話をいただきました。

第12回子ども議会開催（7月29日）



市内の小・中学生を対象にした子ども議会が開催され、子ども議長が選出されるまでの間、小林議長が臨時議長を務めました。当日は、25名の子ども議員が市政に対する夢や希望を込めた質問をしました。

静岡市議会表敬訪問（8月8日）



小林議長が、友好都市である静岡市の議会を表敬訪問し、栗田議長や水野副議長と意見交換を行いました。清水までの中部横断自動車道の部分開通をひかえ、両市の一層の交流促進を相互確認しました。

小諸市・佐久市議会合同議員研修会開催（8月9日）



この研修は、小諸市と佐久市の議会が交互に開催しており、今年度は、ながの結婚支援センター代表の溝端勇二氏を講師に迎え、「学校では教えてくれない「愛される人」になる授業」と題して、講演をいただきました。

